

知床博物館協力会

令和3年度 役員会・総会

日 時：令和3年（2021年）4月28日（水）
役員会14時～ 総会14時30分～

場 所：斜里町姉妹町友好都市交流記念館2F 応接室

1. 議案

- | | |
|-------------------|-------|
| 第1号 令和2年度事業報告 | 資料 1 |
| 第2号 令和2年度収支決算報告 | 資料 2 |
| 監査報告 | 資料 3 |
| 第3号 令和3年度事業計画案 | 資料4-1 |
| （関連）船の科学館助成事業について | 資料4-2 |
| 第4号 令和3年度予算案 | 資料 5 |
| 第5号 会則改正について | 資料 6 |
| 第6号 役員改選について | 資料 7 |

2. 報告事項

- ・新型コロナウイルス感染症による博物館への影響 資料 8
- ・会員数の推移 資料 9
- （役員会資料）
- ・販売物の状況 資料10

第1号議案 令和3年度事業報告

1. 会議・活動

- 役員会 書面開催…令和2年5月実施
- 総会 書面開催…令和2年6月14日議決

2. 出版活動

- ・図録 北海道の哺乳類改訂版 増刷
- ・特別展関連書籍「サケの長い旅」発刊

3. 普及活動

1) 講演会・講座

- ・サケの現在と未来～今私たちにできること、11/8、ゆめホール知床公民館ホール、94名参加、(担当：三浦学芸員)
- ・サケの遡上・産卵観察会、10/25、町内、19名参加、(担当：三浦学芸員)

2) 会員への博物館情報誌の配布

- ・博物館ニューズレター「タンネウシ」の発行(月刊) No. 340～No. 352

3) 会員への会員証等の配布

- ・令和2年度会員証「春の訪れの出逢い」

4) 研究交流・視察来館等への出版物の提供

5) ミュージアムショップの運営

- 博物館受付に販売物コーナー、道の駅などに卸販売、通信販売など
- R2年度売上 732,372円(前年度比△837,372円)

6) 協力会ホームページ・ブログの運営

<http://shiretoko-ms.sakura.ne.jp>

- ・博物館・協力会の活動紹介掲載
- ・「タンネウシ」バックナンバー掲載(2002～2019年)、入会案内他

7) 販売物の売上拡大 新型コロナウイルス下で通販に力を入れたが、大幅に減少した。

4. 博物館活動への支援事業

1) 教育普及活動支援

<ロビー展>

- ・北方民族博物館移動展「サハリンアイヌの衣装」、6/14-7/15、担当一合地学芸員
- ・はたおりの会作品展、10/3-16、担当一村上館長
- ・模型展：とってもステキな小さな世界4、1/30-2/28、担当一永田主任
- ・モモンガ写真展、3/6- (4/18)、担当一村上館長

<特別展>

- ・鮭と川と人と、10/7-12/20、担当—三浦学芸員

<講座、観察会等>

- ・史跡チャシコツ岬上遺跡見学会、7/12、講師：平河内学芸員、参加者 27 名
- ・ネオワイズ彗星観察会、7/16、講師：村上館長、参加者 33 名
- ・博物館クイズラリー、8/1-23、担当：横山学芸員、参加者のべ 109 名
- ・夏休み体験講座 1—川の生き物観察会：8/2、一斜里川を考える会、参加者 6 名
- ・夏休み体験講座 2—アンモナイトレプリカづくり：8/4、講師—永田主任、参加者 11 名
- ・夏休み体験講座 3—斜里の魚をさばいて食べよう：8/5、講師—阿部主任、参加者 9 名
- ・ペルセウス座流星群観察会、8/12、講師：合地学芸員、参加者 15 名
- ・キーホルダーづくり、9/12、講師：合地学芸員、参加者 6 名
- ・地質観察会、9/13、講師：合地学芸員、参加者 7 名
- ・秋の星座観察会、10/17、講師：合地学芸員、参加者 11 名
- ・懐かしの小学校に行ってみよう、11/15、講師：近藤正純（協力会員）、担当：横山学芸員、参加者 21 名
- ・特別展ギャラリートーク、11/15、講師：三浦学芸員、参加者 7 名

2) 交流活動支援

- ・特別講演会、研究交流等で使用

3) 調査研究・研修活動支援

- ・流水観測カメラ、研究活動機材購入、学会・研究会参加等

4) 研究図書・備品等購入支援

研究図書購入

5) 学芸協力員による活動支援

ウェブサイト更新協議等

6) 学校教育支援事業

総合科、理科授業、社会科見学への支援など。

5. 関係団体への活動助成 はた織りの会

6. 来館者サービス 飲み物自販機の設置

7. 環境整備事業

1) 草取りボランティア、6月～10月の毎月10日 6：00～7：00

2) 館前花壇の植栽・維持、高山植物園・シャクナゲ山等の管理支援（5-11月）、観察園・果実園・植栽樹木の管理（委託事業）

第2号議案 令和2年度収支決算報告

収入の部

項目	予算額	決算額	比較	備考
会費	800,000	780,500	△ 19,500	
販売	800,000	732,372	△ 67,628	書籍、グッズ類
自販機売上収入	12,000	12,540	540	
寄付金	50,000	60,800	10,800	
助成金	900,000	887,113	△ 12,887	
雑収入	10,000	6,375	△ 3,625	預金利息、通販送料
当期収入合計	2,572,000	2,479,700	△ 92,300	
前期繰越額	485,970	485,970	0	
合計	3,057,970	2,965,670	△ 92,300	

支出の部

項目	予算額	決算額	比較	比較	
協力会事業	出版物印刷	500,000	549,175	△ 49,175	哺乳類、サケの長い旅
	販売物仕入	400,000	371,160	28,840	書籍、グッズ仕入
	環境整備	120,000	128,883	△ 8,883	草刈り
	事務員賃金	50,000	50,000	0	ショップ事務補助
	活動団体助成	30,000	30,000	0	はたおりの会助成
	研修費	40,000	0	40,000	
	会員サービス	130,000	100,420	29,580	会員証、封筒印刷
	小計	1,270,000	1,229,638	△ 40,362	
博物館支援	普及活動	40,000	39,665	335	講座消耗品等
	交流活動	50,000	27,816	22,184	講演会、視察等
	学芸員調査研究	100,000	99,371	629	撮影機材等
	サケ科普及事業	900,000	887,113		講演会、観察会ほか
	学芸員研修旅費	60,000	0	60,000	
	研究図書等	60,000	59,771	229	
	協力員旅費	15,000	6,000	9,000	協力員旅費
小計	1,225,000	1,119,736	105,264		
運営費	消耗品費	80,000	72,464	7,536	展示・調査用品類
	会議費	3,000	0	3,000	
	通信費	300,000	344,155	△ 44,155	出版物送付、ウェブ料金
	慶弔費	10,000	10,000	0	
	手数料	10,000	8,726	1,274	振込手数料等
	負担金	25,000	15,000	10,000	自然大学等
	予備費	20,000	0	20,000	
小計	448,000	450,345	△ 2,345		
当期支出合計	2,943,000	2,799,719	143,281		
繰越見込み額	114,970	※下記			
当期支出合計	3,057,970	2,965,670	92,300		

収入合計2,965,670円 - 支出合計 2,799,719円 = 165,951円 (繰越額)

定期預金一覧（令和3年3月末現在） 金融機関：網走信用金庫斜里支店

種類	預入日	期間	金額	満期日	年度末残高
定期-1	2020.12.14	1年	1,201,521	2021.12.14	1,201,623
定期-2	2021.3.27	6ヶ月	680,889	2021.9.27	680,895
					1,882,518

協力会銀行残高（令和3年3月末現在）


銀行名	残高
網走信用金庫	23,352
北海道銀行	3,063
北洋銀行	15,437
農協	30,395
斜里第一漁協	48,676
ウトロ漁協	33,760
ゆうちょ銀行	1,268
手持ち現金（釣り銭用繰出）	10,000
合計	165,951

←本館用書籍おつり

令和2年度監査報告

知床博物館協力会の令和2年度収支決算について、
経理簿・預金通帳等、会計に関する各種書類を照合の
結果、いずれも正確であったので報告します。

令和3年 4月14日

監事 遠山和雄 

監事 新藤 薫 

第3号議案 令和3年度事業計画

1. 展示事業

a) 常設展（博物館本館、記念館等）

・展示修復・改善事業：展示室のホルマリンを安全な薬品に交換、展示更新の実施

b) ロビー展：モモンガ写真展（～4/18）、北方民族博物館移動展（4/28-6/6）、鱈脚類展（6-7月）、ジオラマのできるまで（8月頃）、はたおり作品展（9月頃）、パンフ国立公園写真展（10月頃）

c) 移動展「鱈脚類展」（8月）※実施可能か検討

2. 教育普及活動

a) 博物館講座

(1) 天体関連講座（皆既月食、季節の星座、星雲星団の観察会など）

(2) チャシコツ見学会（4/25）、農業資料等収蔵施設見学会

(3) 夏休み体験講座（はたおり講座、川遊び、博物館ラリーなど）

(4) 博物館キッズ事業（4月募集、5～1月事業実施）

(5) ミュージアムカフェ（少人数で講師と1つのテーブルを囲む形式、随時）※当面は実施見送り

b) 連携事業

(1) 世界遺産知床体験学習：町内中学1年生全員を対象に、遺産登録地の見学や講義によって現状と課題を伝える。（事前学習、体験学習、事後学習を実施）

(2) 学校連携事業：町内小中学校と連携して授業や体験学習

(3) 斜里高校史跡巡検学習：1年の2クラス対象。（9月）

(4) 博物館学習：児童・生徒の学習、展示見学等、一般町民団体の研修、実習

(5) 社会教育関連施設：ゆめホール知床主催の生きがい大学（斜里10回・ウトロ校1回）

(6) 学芸員実習：学芸員資格取得のための館務実習（9月）

(7) 初任段階教員研修（3年次研修）：未定

c) 講演会

講演会（ヒグマ関連、詳細未定）

d) 出版物

研究報告第44集

北海道の哺乳類（海編）→協力会で助成申請予定（資料4-2）

e) 姉妹町友好都市交流事業

(1) 交流展示室展示物の保存・管理（刀、槍、具足など）

(2) 津軽藩士殉難慰霊祭への協力（7月16日）、ねぶた祭り協力（7月16・17日）

(3) 弘前市との交流事業（資料・情報収集）

f) 国際学術交流事業

日露隣接地域生態系保全協力プログラム推進事業

g) インターネット

- (1) ウェブサイトへの各種データ掲載の充実
- (2) SNS の活用促進（博物館情報を発信）

h) 国指定史跡チャシコツ岬上遺跡の保存活用計画について策定委員会開催（年度末までに報告書作成）

3. 調査研究事業

a) 個別調査

- (1) アイヌ語地名と生物調査（三浦学芸員）→協力で助成申請予定（資料 4-2）
- (2) しれとこ斜里ねふた調査（横山学芸員）
- (3) 土器の胎土分析（合地学芸員）
- (4) 石斧石材産地調査（合地学芸員）

b) 共同調査他

- (1) オジロワシ繁殖状況モニタリング調査（5-7 月調査、および検討会議、村上館長・三浦学芸員）
- (2) 黒曜石の産地分析等（平河内学芸員）

4. 資料収集保存事業

a) 資料の収集、保管、整理

- b) 農業資料等収蔵庫整備事業：資料移転および収蔵施設内資料の整理
- c) 古写真・古文書の整理：資料のデータベース化（横山学芸員・阿部主任）
- d) 収蔵庫、書庫、書籍整理
- e) 映像・写真資料整理と公開：資料整理とデータベース化

5. 野外観察園

a) 施設・エリアの維持管理

屋外展示資料の説明表示・誘導看板の管理・点検・整備

b) ボランティアによる造成・整備活動

- (1) 早朝草取りボランティア（6-10 月、月 1 回）：野外観察園の花壇造成、除草
- (2) 博物館みどりの日・しれはくフェス：野外観察園の花壇造成
→6 月に予定、新型コロナウイルス感染症の状況次第だが、食の提供をなくし、対面での会話の少ない方法で実施できないか検討する。
- (3) 花壇整備、施設内の樹木の枝払いなど

6. その他

a) 施設管理

- (1) 本館・記念館（展示および収蔵庫内資料も含む）、歴史民俗資料館
- (2) 埋文センター（収蔵庫内資料も含む）→移転作業
- (3) 農業資料等収蔵施設（校舎、桜園、グラウンド、果樹）

b) 施設修繕：博物館内外の老朽化が進む施設及び設備の修繕

c) 研修

- (1) 北海道博物館大会（白老 7/15-16）
- (2) 北海道博物館協会ミュージアム・マネジメント研修会
- (3) 学芸職員部会研修会

d) 関係団体

斜里町郷土研究連盟、知床野鳥の会、斜里町郷土史研究会（冊子「郷土研究」の発行）、斜里天文同好会、津軽藩士殉難慰霊碑を守る会、はたおりの会、斜里川を考える会

e) 文化財保護

(1) 登録・指定文化財

- ・国指定史跡：チャシコツ岬上遺跡—保存活用計画の策定、国登録文化財：越川橋梁、保存と管理
- ・道指定文化財：斜里朱円周堤墓群、斜里朱円周堤墓群出土品、朱円竪穴住居跡群、オシユンクシユン粗粒玄武岩、斜里海岸植物群落、監視と管理
- ・天然記念物の保護：天然記念物指定鳥類保護推進員との連絡強化、事故防止対策
- ・町指定文化財：旧斜里神社拝殿、絵馬、歌枕額、津軽藩士死没者の過去帳、津軽藩士死没者の供養碑 2 基、津軽藩士シャリ陣屋跡、津軽藩士墓所跡、運上屋（会所）跡、斜里神社石灯籠、来運 1 遺跡

(2) 埋蔵文化財

- ・埋蔵文化財事前協議、A・B 調査、工事立会対応、砂利採取（町内各所）など

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」助成事業について

1. 目的

公益財団法人 日本海事科学振興財団（以下「財団」という。）が行う支援事業「海の学び ミュージアムサポート」は、日本財団の助成を受けて、全国の博物館・水族館・図書館等社会教育施設（以下「博物館等社会教育施設」という。）で開催される「海の学び」に繋がるテーマをもった事業を支援することにより、国民一般の「海の学び」への理解増進を達成することを目的とする。

2. 支援対象事業

（活動）

全国の博物館等社会教育施設で開催される「海の学び」に繋がるテーマをもった普及事業等の各種博物館活動とする

（調査）

全国の博物館等社会教育施設等に所属するスタッフが、今後において「海の学び」に繋がるテーマをもった企画展・特別展等及び普及事業等の各種博物館活動の実施を想定した事前の調査・研究とする。

3. 支援対象者

国、地方公共団体、独立行政法人、財団法人（※）、社団法人（※）、学校法人、宗教法人、NPO 法人（特定非営利活動法人）、会社組織、任意団体などで、公益事業を行う機関・団体であり、かつ、① 博物館等社会教育施設を運営する者（上記の場合は、原則として博物館名及び代表者名で申請する。）② 博物館等社会教育施設と連携して事業を行う者とする。※ 財団法人、社団法人とは、一般財団法人、公益財団法人、一般社団法人、公益社団法人を指す。

4. 支援金額上限および支援率

（活動）

支援金額の上限は 300 万円とする。また支援率は、支援対象事業費の 100%以内とする

（調査）

支援金額の上限は 50 万円とする。また支援率は、支援対象事業費の 100%以内とする。

1. 活動助成申請「北海道の海生動物を使った学習素材製作事業」(担当:村上)

(目的)

知床の海の生態系を代表する海洋動物たちについての知識や、古くからの人々と海とのつながりを広く普及することがこの事業の目的です。

(内容)

(1)北海道の海の哺乳類図鑑作成とミュージアムカフェの実施

手軽に検索ができる海の哺乳類図鑑をつくり、海の動物たちへの知識や関心を高めてもらいます。作成した図鑑を用いてミュージアムカフェを開催し、動画や写真と図鑑を照らし合わせながら海生哺乳類各種の特徴や識別の仕方などを一般の方に学んでもらいます。

(2)人と関わりの深い海生動物の標本制作とワークショップ開催

知床半島の遺跡から出土している動物骨と比較できるように、代表的な動物のはく製や骨格標本を作製します。これらの標本を用いて、人々が昔から海の動物たちを中心にどのような食べ物を利用してきたのかを学んでもらうワークショップを開催します。

2. アイヌ語地名から探る希少種の分布と海—川—森のつながりの変遷～絶滅危惧二枚貝カワシンジュガイを指標に～(担当:三浦学芸員)

(目的)

川に棲む二枚貝カワシンジュガイは、幼生期にサケ科の回遊魚(サクラマス、アメマス)に寄生するため、健全な海—川—森のつながりを示す生物と考えられます。しかし、本種が現在も生息する川はまだまだ限定的です。本研究では、北海道各地に残されたアイヌ語地名を集約し、その地名から本種の現在の分布を明らかにします。これにより、過去から現在までの海—川—森のつながりの変遷を示し、それらのつながりや人と自然の共生の重要性を再認識する機会を提供することを目的とします。

(内容)

- ・文献調査：北海道各地のアイヌ語地名に関する文献を集め、カワシンジュガイを含むイシガイ目二枚貝を指す「ピパ」や「トバ」という名前のついた川と位置を調べる。
- ・現地調査：上記の河川を調査し、カワシンジュガイの生息有無を調べる。河川環境の様子や、水質などの環境条件を記録する。
- ・結果のまとめ・報告：カワシンジュガイの生息が確認された川の分布を地図化した上で、カワシンジュガイの生息が確認できなかった川との環境比較をする。本内容を学会で発表すると共に、成果をミュージアムカフェやタンネウシのエッセイにより紹介する。



カワシンジュガイ (三浦撮影)

第4号議案 令和3年度予算案

収入の部

項目	今年度予算額	前年度予算額	比較	備考
会費	800,000	800,000	0	
販売物	900,000	800,000	100,000	
自販機売上収入	12,000	12,000	0	
寄付金	50,000	50,000	0	
助成金	3,500,000	900,000	2,600,000	船の科学館助成
雑収入	10,000	10,000	0	預金利息、参加費
当期収入合計	5,272,000	2,572,000	2,700,000	
繰越金	165,951	485,970	△ 320,019	
収入合計	5,437,951	3,057,970	2,379,981	

支出の部

項目	今年度予算額	前年度予算額	比較	備考	
協力会事業	出版物印刷	400,000	500,000	△ 100,000	出版物増刷など
	販売物仕入	400,000	400,000	0	販売物仕入れなど
	環境整備	120,000	120,000	0	みどりの日、観察園整備
	事務員賃金	50,000	50,000	0	販売・窓口・会員事務
	活動団体助成	30,000	30,000	0	はたおり会助成
	研修費	40,000	40,000	0	博物館大会参加費等
	会員サービス	130,000	130,000	0	会員証、会員ツアー等
小計	1,170,000	1,270,000	△ 100,000		
博物館支援	普及活動	40,000	40,000	0	特別展・講演会・講座等支援
	交流活動	50,000	50,000	0	姉妹町交流・学術交流ほか
	学芸員等調査研究	50,000	100,000	△ 50,000	調査研究機材など
	海生動物を使った学習 素材製作事業	3,000,000	0	3,000,000	別添資料
	アイヌ語地名と生物調 査事業	500,000	0	500,000	
	サケ科普及事業	0	900,000	△ 900,000	
	学芸員等研修旅費	60,000	60,000	0	学会など旅費
	研究図書等	60,000	60,000	0	
	協力員旅費	15,000	15,000	0	
小計	3,775,000	1,225,000	2,550,000		
運営費	消耗品費	80,000	80,000	0	用紙類、事務用品、封筒ほか
	会議費	3,000	3,000	0	総会他
	通信費	300,000	300,000	0	会報出版物送付など
	慶弔費	10,000	10,000	0	
	手数料	10,000	10,000	0	引落し、振替手数料
	負担金	25,000	25,000	0	ねぶた保存会ほか
	予備費	20,000	20,000	0	
小計	448,000	448,000	0		
当期支出合計	5,393,000	2,943,000	2,450,000		
次期繰り越し(見込)額	44,951	114,970	△ 70,019		
支出合計	5,437,951	3,057,970	2,379,981		

斜里町立知床博物館協力会会則

(名 称)

第1条 本会は、斜里町立知床博物館協力会「以下（協力会）という」と称し、事務局を（斜里町本町49番地）知床博物館内に置く。

(目 的)

第2条 協力会は、博物館の行う事業及び活動に対し積極的な支援をすることを主たる目的とする。

(事 業)

第3条 協力会は、前条の目的を遂行するために次の事業を行う。

1. 博物館が直接行うことの出来ない各種事業の企画並びに実践活動。
2. 博物館活動の支援及び共催事業
3. その他協力会が必要と認める事業に対しての支援活動。

(構 成)

第4条 協力会会員は、会の目的と事業に賛同する個人及び団体で構成する。

(役員等)

第5条 協力会に次の役員及び学芸協力員を置く。

1. 役員

会 長 1名 本会を代表し、会務を総括する。

副会長 3名 会長を補佐し会長に事故ある時はその職務を代理する。

理 事 若干名 会務を計画し總會承認業務の執行に当る。

監 事 2名 事業、会計を監査する。

相談役 若干名 本会に必要な運営事項等について相談に応じる。

事務局長 1名 会務を処理する。

2. 学芸協力員

博物館の学芸活動を専門的立場から支援する。

3. 役員は總會で選任する。

4. 事務局長、学芸協力員は会長が任命する。

(役員任期)

第6条 役員任期は2年とし、定期総会から定期総会までとする。ただし、再任は妨げない。

(会議)

第7条 協力の会議は役員会及び総会とする。

1. 役員会は必要の都度開催し、会務の企画と執行に当る。この会は第5条の役員（必要ある場合は学芸協力員を含む）で構成する。
2. 総会は、毎年度当初に開催し予算、決算、事業計画、事業報告、役員選出、会則改正などを決定する。

(会計)

第8条 協力の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

1. 経費は、会費、事業収入、寄附金等で賄う。
2. 会費は1口2,000円（年額）で口数は随意とする。ただし会員が年度途中で退会しても会費の払い戻しはしない。

(その他)

第9条 協力の会員には次の特典が与えられる。

1. 会員証提示による博物館常設展の無料観覧。
2. 協力会発行のニューズレター、新刊行物の送付
3. 博物館及び協力会事業の開催案内

第10条 その他、協力の運営に必要な事項は役員会で別に定める。

附 則

この会則は昭和54年11月6日から施行する。

この会則は昭和56年8月10日から施行する。

この会則は平成6年6月7日から施行する。

この会則は平成24年5月10日から施行する。

この会則は令和3年4月28日から施行する。

役員補選(案)

役職	旧役員氏名	新役員氏名	備考
会長	片桐 昌夫	門馬 恵彦	
副会長	川村 國博	川村 國博	
	三浦 詔男	三浦 詔男	
	門馬 恵彦	滝川 智貴	
理事	木村 哲明	木村 哲明	
	西岡 保	西岡 保	
	伴 信一	伴 信一	
	山田 登美子	山田 登美子	
	吉田 みつ子	吉田 みつ子	
	滝川 智貴	本宮 幸恵	
	本宮 幸恵	小山田東洋士	
	小山田東洋士	寺永 君子	
監事	新藤 薫	新藤 薫	
	遠山 和雄	遠山 和雄	
相談役		片桐 昌夫	
事務局長	村上 隆広	村上 隆広	

(役員任期 令和2年6月14日～令和4年度総会)

知床博物館協力会 学芸協力員名簿

氏名	住所	備考	
金盛 典夫	斜里町	H24年度任命	
中川 元	斜里町	H24年度任命	
近藤 憲久	大空町	H26年度任命	
佐藤 トモ子	苫小牧市	H27年度任命	

新型コロナウイルス博物館への影響について

1. 知床博物館の休館・来館者状況

(1) 臨時休館 令和2年2月29日～3月1日、4月18日～5月24日 39日間

(2) 来館者数

単位:人

	H30年度	R元年度	R2年度	R2年前年比
4月	800	670	125	△81%
5月	1,211	1,132	83	△93%
6月	1,473	1,096	359	△67%
7月	2,435	2,005	643	△68%
8月	1,518	1,691	835	△51%
9月	1,127	905	560	△38%
10月	911	861	997	+16%
11月	687	449	453	+1%
12月	678	401	205	△49%
1月	444	389	183	△53%
2月	1,109	916	360	△61%
3月	705	295	504	+71%
合計	13,098	10,810	5,307	△51%

(2) 入館料

単位:千円

	H30年度	R元年度	R2年度	R2年前年比
4月	96	99	7	△93%
5月	190	175	4	△98%
6月	282	131	38	△71%
7月	201	161	91	△43%
8月	259	286	144	△50%
9月	200	149	98	△34%
10月	188	124	105	△15%
11月	70	53	55	+4%
12月	53	43	17	△60%
1月	54	58	18	△69%
2月	205	171	40	△77%
3月	105	36	—	—
合計	1,901	1,485	2月末(617)	2月末(△58%)

2. 博物館事業への影響

(1) 講座・イベント等の中止

年月	項目
令和2年2月	協力会バスツアー、流氷観察会中止
3月	タヌキ講演会、ワークショップ、望遠鏡製作ワークショップ中止
4～5月	生きがい大学・博物館キッズ中止
6月	知床ウトロ学校世界遺産学習の現地視察中止
6月	しれはくフェス・ロビー展中止
7月	慰霊祭、知床自然教室中止
7月	ウトロでの移動展中止

(2) 研修会・学会等の中止、またはオンラインでの実施に変更

年月	項目
令和2年3月	生態学会中止（三浦）
4月	応用生態工学会中止（三浦）
7月	北海道博物館大会中止
9月	哺乳類学会中止（村上）
11月	オホーツク管内連絡協議会臨時部会中止（平河内）
12月	北海道考古学会中止（平河内）
令和3年2月	北海道東海大学野生生物学実習・オンライン実施に切り替え
2月	遺跡調査活用検討委員会、文化庁調査官の招聘中止、オンライン参加
3月	生態学会・オンライン実施

3. コロナ禍において工夫して実施した主な事業

年月日	事業の概要
6月14日～ 7月15日	道立北方民族博物館移動展「サハリンアイヌの衣服」 →北方民族博物館のコロナ対策基準に従って実施
10月7日～ 12月20日	特別展「鮭と川と人と」 →ボールプールは人数制限をして実施、VRゴーグルは消毒と ディスプレイのフェイスマスク使用
11月8日	特別講演会（協力会主催事業）「サケの現在と未来～今私たちに できること」→人数制限して実施。講演者のマイクを交換消毒。
令和2年6月～ 令和3年1月	博物館キッズ →マスク着用、手指消毒、バスの乗車時に注意